



NPO 法人 日本TA協会 第 37 回大会

大会テーマ「安全を感じることと 絆」

“FEELING SAFE AND CONNECTED”

2025 **10.25** SAT

受付 9:30 開始 10:00-17:00

10.26 SUN

受付 9:15 開始 9:30-16:00

TA を生かして、脳・体に刻まれた過去を
過去のものとし、過去も含めた現在の
自分やつながりを実感する

会 場

ハイブリッド形式 ハイブリッド形式のプログラムには (*) マーク
(晴和ホール / オンライン)

東京都新宿区弁天町 91 神経研究所ビル 4 階

都営大江戸線 牛込柳町駅 徒歩 5 分

東京メトロ 東西線 神楽坂駅 徒歩 10 分

早稲田駅 徒歩 10 分

参加費

7月7日より受付開始 (早割9月24日まで)

学生 1,000 円 (早割 500 円)

会員 8,000 円 (早割 7,000 円)

後援団体会員 8,500 円 (早割 7,500 円)

非会員 10,000 円 (早割 9,000 円)

懇親会

一律 4,800 円

基調講演 *

花丘ちぐさ氏

テーマ:「安全と絆」

国際メンタルフィットネス研究所代表

オンラインインタビュー *

Jan Grant 氏

テーマ:「日本における ITAA のカウンセリング領域
トレーニング」

国際TA協会の教育・カウンセリング分野の教授
資格会員 (TSTA)

ワークショップ

TAの視点で安全と絆を考える
6つのワークショップ

WS1 満山かおる (アスファレス心理センター)
「プレTA101」

WS2* 門本泉 (大正大学)
「縦のきずな、ものとのきずな」

WS3 月岡哲夫 (西毛病院)
「高齢者ケアの安心のために」

～ケアワーカーの感情労働～

WS4* 北村嘉伸 (株式会社ウイン教育コンサルタンツ)
「心理的に安心安全で、やる気に満ちたチーム
にするために～組織分野のTAの活用～」

WS5 島田凉子 (東邦大学)、伊東孝郎 (白鷗大学)
「TAの理念と用語を共有するグループスーパー
ビジョン (GSV) の特徴と効果について考える」

WS6* 金丸隆太 (茨城大学)、川並美智子 (保育士)
「教育と保育領域からみた安全」

★お申し込みは裏のQRコードから

主催・NPO 法人日本TA協会 後援・日本交流分析学会、日本交流分析協会

基調講演：「安全と絆」花丘ちぐさ氏

SE™およびポリヴェーガル理論の国際団体のファカルティ、IFSの日本初の認定セラピスト。ポリヴェーガル理論とソマティック・エクスペリエンス® (SE™) の視点から、脳・体に刻み込まれた過去からの回復についてお話いただきます。また、哺乳類である我々が、つながることで安全を高めてきたこと、安全を感じることとつながっていると感じることの大切さをお話いただきます。TA理論における脚本の起源の理解と脚本の書き換えに役立つヒントが満載です。

オンラインインタビュー：「日本における ITAA のカウンセリング領域トレーニング」Jan Grant 氏

1980 年以来、45 年以上国際 TA 協会のメンバー。現 ITAA 倫理委員会会長。TAJ (国際 TA 協会の論文集) に 3 本の論文が掲載されています。Australian College of Applied Psychology で上級教育を 25 年間。カウンセリングの実践家。インドや日本の TA トレーニーに対し、オンラインでグループスーパービジョンを行なっています。今回はオンラインでオーストラリアと繋いで、テーマを中心にお話いただく予定です。

【タイムテーブル】

10月25日 (日)	10月26日 (日)
9:30 受付	9:15 受付
10:00 開会	9:30 WS3 WS4
10:10 基調講演	12:00 休憩 (60 分)
12:00 休憩 (60 分)	13:00 WS5 WS6
13:00 WS1 WS2	15:30 クロージング
15:30 休憩 (15 分)	16:00 閉会
15:45 オンラインインタビュー	
17:00 1日目終了	
17:30 懇親会	

WS1: 「プレTA101」満山かおる (アスファレス心理センター、CTA)

TAを初めて学ぶ方を対象としています。今大会のテーマである、安全を感じることと絆に関連した視点から、TA理論の初歩の初歩を体験ワークを交えて学んでいきます。

WS3: 「高齢者ケアの安心のために～ケアワーカーの感情労働～」月岡哲夫 (看護師、西毛病院、カウンセリング領域でのCTAトレーニー)

高齢者ケアの現場では、ケアワーカーの感情労働が大きな関心事の一つです。その負担が高齢者虐待の一因になることもあります。本ワークショップでは感情労働の実態や背景に目を向け、ケアワーカーが能力発揮するための「保護」と「許可」をどのように確保していくか、共に考えます。

WS5: 「TAの理念と用語を共有するグループスーパービジョン (GSV) の特長と効果について考える」島田涼子 (東邦大学、CTA)、伊東孝郎 (白鷺大学)

私たちのGSVは、TAの理念「OKネス」と「自律性 (自発性、気づき、親密性)」に基づき、ディスカントを排した真剣な議論を通して、よりよいクライアント支援だけでなく、メンバー相互の成長の場であることを目指しています。TAを共有するGSVの特長として、ThのスタンスやTh-Cl関係に与える影響についても検討します。

WS2: 「縦のきずな、ものとのきずな」門本泉 (大正大学、TSTA)

心理療法やカウンセリングにおいて、「安全ときずな」というテーマは古くて新しく、日常的でまた特別なものです。本ワークショップでは、このテーマを対人世界のテーマから拡張させて、時間という軸から私たちがもつ「縦のきずな」と、人間や動物以外の「もの」とのきずなに焦点を当てて、それらを再評価します。

WS4: 「心理的に安心安全で、やる気に満ちたチームにするために～組織分野のTAの活用～」北村嘉伸 (ウイン教育コンサルタンツ、TSTA)

私たちは誰もが様々な組織に所属しています。その組織が安心できる場となり、さらにやる気に満ちたチームにするためには、どのような要素が必要なのでしょう？本WSでは、組織分野のTAを紹介しながら、参加者の皆さまが所属する組織について考える機会も提供します。

WS6: 「教育と保育領域から見た安全」川並美智子 (保育士、CTA)、金丸隆太 (茨城大学、CTA)

保育と教育、それぞれの現場でTAを実践している2人の講師が、TAを使って「子どもと安全」についてどう向き合うかをお話しします。演習を交えながら、現場で役立つヒントを一緒に体験できるワークショップです。TAのあたたかさやおもしろさを感じながら、明日からの実践につながる学びをぜひ一緒に。お気軽にご参加ください！

実施形式
(場所)

ハイブリッド
(ホール)

対面のみ
(小会場)

お申し込み



<https://taaj.or.jp/program/conference37/>

itaa
INTERNATIONAL TRANSACTIONAL
ANALYSIS ASSOCIATION

日本TA協会は、国際TA協会 (ITAA) とパートナー協定を結んでいます。



お問い合わせ

NPO 法人 日本TA協会 (TAAJ)

〒162-0851

東京都新宿区井天町91番地 神経研究所内

TEL/FAX: 03-6822-2743

E-mail: info@taaj.or.jp